

日本と海外の水事情

蛇口を捻って水が飲めるのは日本だけ、というような言葉を聞いたことはありませんか？以前、僕はテレビでこのようなキヤッチコピーを聞きました。その時は、日本ではきれいな水を飲むことができるのに、なぜ他の国ではきれいな水を飲むことが難しいのか疑問に感じました。そこで僕は日本と他の国では何が違うのかを考えてみることにしました。僕は小学生のときに浄水場にいったことがあったので、まず、施設に違いがあるのかなと思つて調べました。

日本ではまず川やダムから水を取ります。そこで土、砂を沈めて取り除きます。その水は導水管というものを通つて浄水場に向かいます。浄水場につくと凝集剤には細かい砂や土をかたまりにする働きがあるそうです。他にも消毒用の次亜塩素酸ナトリウムや管をさ

天理市立福住中学校 二年

山下 愛斗

びにくくするため消石灰を入れたりします。次にフロック形成池というところで細かい砂や土を水に沈みやすいフロックというものに育てます。その後沈んで汚れたフロックを沈め沈んで池でとれなかつた汚れたフロックを取り除きます。浄水場では、ろ過の仕組みを教えてもらいました。きれいな水は配水池に貯められます。丸い配水池を見せてもらつたことを覚えています。そしてその水は配水管を通つて家庭に届けられます。普段何となく使っている水がこんなに過程を経て僕たちのところには届いているというのを初めて知つたときはとても驚きました。

しかし、他の国では国土の面積やコスト面で、水不足でできないというケースがあるそうです。また、殺菌などの浄水処理には高度

な技術と莫大なコストがかかり整備しにくいという問題もあるそうです。日本は国土が狭いのでインフラ整備が他の国に比べて簡単にできます。さらに、日本は約二百種類の水質検査を行う技術を持っているためきれいな水を保てるそうです。

浄水場というところに限定して見ても、日本はとても恵まれているんだなと思いました。僕はきれいな水を飲めない国を手伝っている取り組みがあることを知りました。調べるユニセフの取り組みが出てきました。ユニセフでは募金されたお金を使って井戸を作ったりしているそうです。僕はコストがなくても募金されたお金で補えることを知りました。僕は日本では当たり前に飲んでいる水だけでなく世界では飲みたくてもコストや国土の面積で浄水施設を作れないなどの事情があることを初めて知りました。同時に、日本は本当に恵まれていることを改めて実感しました。僕はこれから水を大切に使用したいと思います。そして海外に目を向けて、僕にできる取り組みに参加していきたいと思います。